

今日は挨拶について考えたいと思います。皆さんは公共の場でエレベータに乗り込むとき、すでに見ず知らずの人が何人か乗っていた場合、どういう対応をしますか。

知っている人が一人でもそこにいれば、「あら、こんにちは」みたいな感じで、周りの人に迷惑にならない程度に、ちょっとした会話が始まるかもしれません。でも、知っている人が一人もない状況なら、黙って乗り込んで行き先の階のボタンを押し、その階にいたら無言で降りていく。これが、公共の場で不必要にやかましくして周囲の人に迷惑をかけてはいけないという日本式のエチケットなのかもしれません。

一方、海外、例えば欧米では、“Good morning”や“Hello”などと挨拶するのが通例です。降りるときも、“See you”とか“Have a nice day”などと、見知らぬ人同士であってもきちんと挨拶するのがエチケットです。挨拶だけでなく、「最近暑いですね」とか「それ、素敵なおネクタイですね」のような当たり障りのない話題で会話をすることもあります。日本とは大違いですね。

なぜ、このような違いが出てくるのか。よく言われているのが、単一民族の日本では言葉にしなくてもお互いを理解できるという共通認識があるが、例えばアメリカのような多民族国家では、知らない人同士がいかにしてトラブルを起こさないかということにいつも注意を払っているというものです。だから、知らない人と図らずも狭いエレベータの空間で一緒の時間を過ごさなければならない時は初めから、「私はあなたに敵意を持っていませんよ」ということを言動で示す。そこでとりあえず挨拶なわけです。

私もこの4月に初めて川内高校近くの住宅に引っ越してきました。この地域に知っている人は一人もいません。ですから私も欧米方式で、夕方ウォーキングする際、同様にウォーキングをしたり犬の散歩をしているというように、明らかにこの地域で生活をされていると思われる人とすれ違う時はこちらから「こんばんは」と挨拶をしています。この方々もきまって挨拶を返してくれますので、最近夕方にウォーキングしているおじさんが、川内高校の校長とは分かっていなくても、「少なくとも怪しい人間ではない」という程度の認識は持っていたいただいていると思います。挨拶の効果は出ているのです。

さて、皆さんは適切な場面で、適切な挨拶をしていますか。皆さんは私と校内ですれ違うとき、ほぼ全員が挨拶をしてくれます。まあ、これはこれでいい。しかし、校門を出た途端に、「スイッチが

入る」の反対で「スイッチが切れる」かのように、挨拶しなくなる人が一気に増える。不思議な現象です。

私は4月以降昨日までに、夕方のウォーキングの際、何人もの川内高校生とすれ違いましたが、挨拶をしてくれたのは3人に1人から4人に1人くらいの割合です。ウォーキング中の私はジャージ姿ですから、私の顔を十分に覚えていなくて、しかも学校でのスーツ姿ではなかったのが気づかなかった、という説明も成り立つかもしれない。でもそれならばなぜ、私とは全く関係のない川内北中の生徒は、全員ではないにせよ私に挨拶してくれるのか。彼らにとって私は、「学校近隣に住むウォーキング好きのおじさん」に過ぎないはずなのにです。

私は「どうして皆さんは校外では私に挨拶できないのか」と腹を立てているわけではありません。皆さんが川内高校の校長だと気づかなくても、どうして学校近隣に住むおじさんとして私に挨拶ができなかったのか。そちらの方が残念でならないのです。どうしてもっと近隣に住む人たちに意識を向けられないのか。校門を出た途端に、挨拶に対する感度が一気に下がる。そのことが残念なのです。

本校は来年、創立130周年を迎えます。130年間も学校として存続するには、地域の人たちのご理解やご協力が絶対に必要だったはずですが、この間、おそらく様々のご迷惑もかけてきたことだと思います。この地域の人々に対して挨拶もせず無視を決め込む態度をとっていいのか、改めて考えてもらいたいと思います。

駅や繁華街などですれ違う人にまで欧米方式で挨拶をしろと言っているわけではありません。自分が川内高校の制服や部活動の服装で学校を代表しているような姿の時に、明らかに学校近隣に住んでいると分かる方と一対一ですれ違うような時には、日頃からの感謝の気持ちを込めて笑顔で「こんにちは」と挨拶できるくらいの大人の対応をそろそろ身につけてほしい、そう願っているのです。

私は皆さんには、校内、校外を問わず、端正な姿でいてほしい、そう思っています。天気が悪くない限り、時間の許す限り、私は健康管理を兼ねて学校近隣を毎日ウォーキングしています。もし、川内高校生としてみっともない姿を見かけたときには、学校の責任者として躊躇なく注意させてもらいますが、そんなことが起こることなく、皆さんの立ち振る舞いが近隣住民の方々に好印象を与え、川内高校周辺が皆さんの挨拶と笑顔であふれいつもホンワカしている、そんな地域ができることを期待して今日の話を終りたいと思います。